

第1回 明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会及び追加ヒアリングにおける主な意見と対応①

■第1回協議会における意見 ○ヒアリングにおける意見

項目	No	主なご意見	対応
個別箇所	(1)	■明石西口交差点 スクランブル交差点で、視覚障害者は横断するのが怖い。	▪ 明石駅周辺における視覚障害者誘導用道路横断帯（エスコートゾーン）の整備に向けた検討を「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり重点モデル地区実行計画」の取組施策に位置付け、関係機関と検討を行います。（明石市、明石警察署）
	(2)	■国道2号（明石大橋の東側付近） 車両が常時歩道に乗り上げている。	▪ 違法駐車対策のため、周辺のパトロールを強化しております。（明石警察署）
	(3)	■観光道路 歩道が荷捌きに常時使用されている。	▪ 当該事業者に対する指導を行いました。 今後も市と連携し、事業者に対する指導を行っていきます。（明石警察署、明石市）
	(4)	■市道朝霧37号線 歩道がなくベビーカーでの移動は危険な状況である。	▪ 本区画に歩道を整備するためには、多くの工事費用と期間が必要となります。 このため、歩行空間の安全対策等について「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」を踏まえ、検討していきます。（明石市）
	(5)	■市道人丸山下9号線（山電明石駅～人丸前駅までの北側の東西の道） 幅員が狭く、車両・人とも通行が危険な状況である。	▪ 本区画に歩道を整備するためには、民間住宅の用地取得が必要であり、多くの費用と期間が必要となります。このため、歩行空間の安全対策等について「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」を踏まえ、検討していきます。 なお、同路線は、今年度の通学路点検においても指摘を受け、関係者で対策を検討し、車道の端を示す区画線を新たに設けました。（明石市）
	(6)	■市道太寺上ノ丸14号線 （天文科学館方面への道） 歩道に凹凸がある。また歩道に電柱があるため、車椅子利用者は一旦車道に出ないと通行できない。	▪ 本区画の歩道を整備するためには、民間住宅の用地取得が必要であり、多くの費用と期間が必要となります。このため、歩行空間の安全対策等について「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」を踏まえ、検討していきます。 また、当面の対応として、歩道の凸凹路面の改修を検討します。（明石市）
	(7)	■JR明石駅改札口 JR明石駅の改札からホームに上がる階段の真ん中に手すりをつけてほしい。	▪ 中間部の手すりについては、国のガイドライン、それに準ずる弊社基準はありますが、具体的な設置については、それぞれの箇所の状況等を勘案し、個別に検討しており、現時点明石駅については、具体的な設置の計画はございません。（JR西日本）
	(8)	○明石駅バス乗り場 点字ブロックに並ぶ人がおり、駅のように並ぶ列に線を引いてほしい。	▪ 明石駅前広場における案内表示の改善に向けた検討を「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり重点モデル地区実行計画」の取組施策に位置付け、来年度に検討を始めます。（明石市、神姫バス等）
	(9)	○JR・山陽明石駅 電車の遅延などの案内が音声のみであり、電光掲示板などで表示してほしい。	▪ 明石駅に着く、直近の列車については発車標で遅れ具合を表示しております。JR神戸線のそれぞれの列車については、「列車運行情報」アプリで列車の位置と遅れている時間を見ることができると、そちらで確認して頂きたく存じます。（JR西日本） ▪ 列車の運行状況については、ホームにある列車接近案内装置にて文字によりご案内し、改札口付近にある情報ディスプレイにて文字及び図によるご案内を行っております。 個別列車の遅延情報の提供は、現段階では難しく、長期的な課題として検討していきます。（山陽電気鉄道）

第1回 明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会及び追加ヒアリングにおける主な意見と対応②

■第1回協議会における意見 ○ヒアリングにおける意見

項目	No	主なご意見	対応
個別箇所	(10)	○明石駅周辺バス停 椅子がなく、道路に座っている姿が見られる。	▪ 設置費用や管理面で検討すべき課題があることから、今後、先進事例の研究を始め、行政、バス事業者、地域による枠組みなどを検討していきます。(明石市、神姫バス等)
	(11)	○明石駅東側～アスピアに向かう歩道 等間隔に突起がある。	▪ 当該地を調査し、土地所有者、管理者と突起の解消に向け協議し、撤去の方向で進めて頂くよう調整しております。(明石市)
	(12)	○銀座通り 看板が点字ブロック付近にあり、白杖が当たる。	▪ 看板設置者へ注意喚起、指導を行います。(明石市)
	(13)	○明石西口スクランブル交差点横 路地が暗く、街灯設置をしてほしい。	▪ 市内の街路灯が不足しているため、暗い道路から順次整備しているところです。ご意見の道路につきましても、市内全体の整備状況を踏まえ、検討していきます。(明石市)
	(14)	○明石駅周辺 小休憩できるスペースがほしい。	▪ ベンチ等の休憩ができる施設の整備を「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり重点モデル地区実行計画」の取組施策に位置付け、整備に取り組んでいきます。(明石市)
トイレ	(15)	■トイレに大人用ベッドを設置してほしい。	① 性別に関係なく利用しやすい位置に多機能トイレを配置し、その中に大人用ベッドを設置 ② 多機能トイレに機能を集中させず、男女各トイレにオストメイトなどの機能を分散し配置 ③ ピクトグラムを活用や配色の工夫などにより、誰にでもわかりやすく表示
	(16)	○多機能トイレの数を増やすと共に機能分散をしてほしい。	
	(17)	○トイレマークが見づらい。	
情報提供	(18)	■全盲者が携帯電話で施設を案内してもらえような情報提供の仕組みがほしい。	▪ 視覚障害者を含めた情報提供のあり方について、「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」策定に向けた検討の中で、検討していきます。(明石市)
	(19)	■バリアフリーマップはいつ、どのような形で出来るのか。	▪ 本年3月末までに完成の予定です。 現案について、情報提供させていただきます。(明石市)
心のバリアフリー	(20)	■筆談ボードによりコミュニケーションができることを普及してほしい。	▪ 「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」策定に向けた検討の中で、市民の障害理解促進のあり方について検討していきます。 その際、本市が作成した、筆談でコミュニケーションする際のポイントを要約した「筆談入門ガイド」の活用を図っていきます。(明石市)
	(21)	■知的障害児には人的サポートが必要。警察・駅員・運転手等の方にお世話になることも多い。市民や事業者等の障害理解を深め、教育の取組を充実してほしい。	▪ 「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」策定に向けた検討の中で、市民や事業者の障害理解の促進や、適正な施設使用に向けた啓発などについて検討していきます。(明石市)
	(22)	■違法駐車(歩道の乗り上げ)や違法な道路使用(荷捌き利用)に対する市民理解を深める取組の推進が必要。	▪ 「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」策定に向けた検討の中で、どのような対応が可能か検討していきます。(明石市)
	(23)	■整備後には、整備が完了しているのかを確認(チェック)することが重要。特に、ご意見を頂いた当事者が確認できる機会を設けることが望ましい。	▪ 「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」策定に向けた検討の中で、どのような対応が可能か検討していきます。(明石市)
	(24)	○ヘルプマークの啓発を行って欲しい。	▪ 市民や事業者に対してマークの趣旨を理解していただけるよう、明石駅前再開発ビル、保健所及び観光案内所のデジタルサイネージへの掲載や、市民図書館における啓発ポスターの掲示、広報紙への掲載など、周知に努めています。 また、JR、山陽電鉄、神姫バスの車内や駅においても啓発ポスター等の掲示を行っており、今後も関係事業者と共に周知を進めていきます。(明石市、明石観光協会、公共交通事業者)